

総合計画審議会意見概要について

I 基本構想

(P5～) ※素案のページに対応

○まちづくりの理念と都市像のつながりや、目指す都市像と基本計画の各政策で目指す将来の姿との整合を図るなど、わかりやすさに配慮すべきである。

II 基本計画

(P11～)

総論

◆ 土地利用方針 (P17～)

○多核連携型都市における各区のネットワークについて、隣接区の間でサービスを提供し合えるような土地利用を目指すべきである。

○具体的な開発などの事案については市全体や各区の持続的発展のための基盤整備につながるのかという視点や、農村集落の維持・活性化といった視点が重要である。

◆ 行政運営方針 (P20～)

□持続可能な財政運営

○公共施設の廃止等今後のあり方を検討するうえでは、費用面などの効率性だけでなく、地域の住民への配慮の視点も重要である。

□本市にふさわしい大都市制度

○大都市制度についての経過などを、わかりやすく記載すべきである。

□他自治体との連携・ネットワーク化

○効率的で質の高い行政サービスを提供し続ける観点から、広域的に連携し、共通の課題に対しては協働で対処していく体制をつくりあげることが重要である。

政策・施策

都市像 I 市民と地域が学び高め合う、安心協働都市 (P64～)

■政策① ずっと安心して暮らせるまち (P64～)

○「医療・介護のネットワーク形成」について、地域を支える人材と専門性を持った人材、両方の観点から人材育成を考えるべきである。

○「災害に強いまちづくり」というのは、人命を損なわないことが重要であるため、住民が早期に避難できるよう、地域内が協力して助け合うことが必要である。

■政策② 子どもを安心して産み育てられるまち (P70～)

○出生率が増加し、子どもが多い活気あるまちになるため、これまで以上に子どものいる女性が安心して働けるような環境づくりが重要であると同時に、ワーク・ライフ・バランスや育児休業の推進にあたっては企業の協力が不可欠であるため、意識の共有を図るべきである。

○子育てを地域で支えるということは必要不可欠であり、施策の中にも記載すべきである。

■政策③ 学・社・民の融合による教育を推進するまち (P76～)

○若者の人口流出抑制のための支援をまちの活性化にもつなげるべきである。

○8年後の姿で記載されている「学力・体力に自信をもち」を「自分の力に自信をもち」という表現に修正すべきである。

■政策④ 地域力・市民力が伸びるまち (P80～)

○コミ協に対しては、経済的な問題、活動拠点の問題のほか、地域づくりを担う人材として、特に担い手の育成に力を入れるべきである。

都市像Ⅱ 田園と都市が織りなす、環境健康都市 (P84～)

■政策⑤ 地域資源を活かすまち (P84～)

○農業を核としたまちづくりについて象徴的に示している「10次産業」「12次産業」などを文中に記載すべきである。

○「地域の個性、歴史、文化に根ざしたまちづくり」を進めることで定住人口の増加につながることをイメージしにくいいため、わかりやすい表現にすべきである。

■政策⑥ 人と環境にやさしいにぎわうまち (P87～)

○公共交通体系の構築にあたり、バスの新設だけでなく既存の鉄道とバスの組み合わせも重要になるため、既存の公共交通、鉄道についても記述すべきである。

○高齢者が暮らせないまちにならないように、市民の足をどう確保していくかが重要である。

■政策⑦ 誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち (P93～)

○障がい者や若年無業者と農業がマッチングしやすいことは、農業が盛んな新潟市としてアドバンテージを持っていることになるため、そうした市の強みがわかる表現にすべきである。

○障がいを抱えていても暮らしやすく、誰もが心身ともに健やかな暮らしを営めるように、社会全体でサポートしていく体制や雰囲気づくりに努めることが障がい者の働きやすい環境づくりにつながる。

都市像Ⅲ 日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市 (P98～)

■政策⑧ 役割を果たし成長する拠点 (P98～)

○ニューフードバレーを進めるうえでは、既存農業の経営基盤の強化が不可欠である。

○「日本海側への機能移転の推進」について、日本海国土軸の形成の概念に、空港や港が含まれていないため、空港や港の活用についても記載すべきである。

■政策⑨ 雇用が生まれ活力があふれる拠点 (P103～)

○若者の人口流出を抑制するためには、「マンガ、アニメ」関連産業など新たな領域開拓が必要であり、市内の高等教育機関の強みと市の施策を連携させることが重要である。

○施策の成長産業の育成として、航空機産業やニューフードバレーを推進する背景について、「現状と課題」に、これまでの取り組みなどを具体的に記載すべきである。

■政策⑩ 魅力を活かした交流拠点 (P105～)

○「本市が誇る食文化」について、より分かりやすくするため、具体的な表現を加えるべきである。

○個別の取り組みを通じて、都市としての魅力の発信力を高めていくべきである。

■政策⑪ 世界とつながる拠点 (P109～)

○国際交流の推進にあたっては、新潟の強みを活かして戦略的に国際交流を進めていくべきである。

区ビジョン基本方針 (P114～)

○区の概要と図表の対応関係がわかりにくいものがあるので、検討すべきである。